

<活動理念>

～スポーツ環境を途切れさせない～

現在クラブでは、ジュニアユース（中学生）を対象にコーチングを行なっております。加えて、高校生以上・大学生・社会人へ活動の場の提供を行なっており、クラブの活動目的は『練習や試合などを通じて、様々な年代のソフトテニスを愛好する会員同士の親睦を深め、加えて技術の向上を図り、各種大会で活躍する。また、地域社会におけるソフトテニスの普及・発展に寄与すること。』となっております。

今までの既存のクラブを否定するわけではありませんが、どうしてもクラブが単一世代で構成されていると、子供達のスポーツ環境が途切れてしまい、最終的にはソフトテニス人口が増えないという問題を抱えておりました。

そこで我々のクラブは、ソフトテニスの普及・発展とは、『試合に勝つ』『強い選手を育てる』ということではなく、『スポーツ環境を途切れさせない』ことであると考え、継続的に参加できる環境があればそれがソフトテニス人口の増加につながればと思っています。

練習に参加しているジュニアユースの面々が、将来もクラブで活動したくなるような、また、社会人の皆さんが、自分の子供や孫と一緒にプレーしたくなるような、そんなクラブを目指しています。

<ジュニアユース指導理念>

～個人重視の指導～

クラブに参加しているジュニアユースの選手は、当たり前ですが、年齢・性別・性格・技術等は、個人によってバラバラです。そこでまず、基本となるのが個人重視の指導です。みんなで同じひとつの練習を行なっているけども、コーチは選手を個人ごとに観察し、それぞれとコミュニケーションを交わしながら、その選手に見合ったアドバイス・提案を行います。

～選手自ら考える指導～

コーチングの意味は、『選手がこうなりたいという方へ導く』ことであります。この意味を履き違えて、選手に詰め込む指導をしてしまうと、結果として選手の主体性を失くし、ソフトテニスが楽しくなくなります。コーチは選手とのコミュニケーションの中から、選手が自ら考えて行動できるように仕向けます。その行動には選手の『意思』が含まれるため、詰め込み型指導よりもはるかに効果があります。

～チャレンジと失敗を繰り返す指導～

選手が成長していく過程において、全てが順調に進むということは全くありません。すなわち完璧なプレーや結果は存在しないのです。技術的・精神的なことにおけるミスや失敗はつきものであり、成長をしていくためには、目の前の失敗やミスを受け入れ、さらにチャレンジをしていくこと繰り返し行なうことが必要であり、やがて本当の力となってくれると思っています。

<クラブヒストリー>

平成 17 年 4 月 1 日：クラブ発足（中学生を対象にした練習会）
平成 18 年 4 月 1 日：クラブ内に高校生以上を対象にしたトップチーム結成
中学生を対象にしたジュニアユースチーム結成
平成 18 年 5 月 14 日：射水市ソフトテニス協会へ加盟
平成 20 年 7 月 6 日：一般・ジュニア（小学生）を対象にした
サテライトチーム結成
平成 22 年 : WING 射水スポーツ少年団との交流開始
(月 1 回程度の合同練習)

<練習日程>

～ジュニアユースチーム～

火曜日 市営歌の森テニスコート（PM7：00～9：00）

木曜日 市営小杉総合体育センター（PM7：30～9：30）

日曜日 市営歌の森テニスコート（PM2：00～5：00）

～トップチーム～

土曜日 アイシン軽金属スポーツセンターテニスコート
（PM7：20～9：00）

～サテライトチーム～

月2回程度で実施

（場所・時間については都度決定(詳細はスケジュールを確認して下さい)